

各管理区の紹介



保残伐施業に関する国内初の大規模実証実験地（深川市）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

01 空知管理区

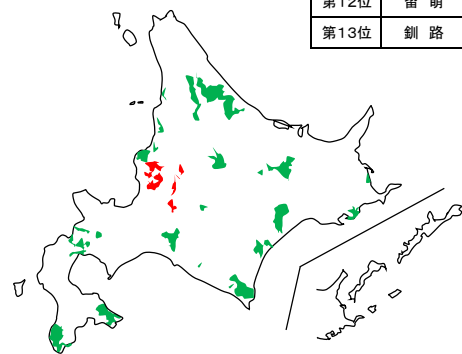
空知管理区は、江別市、当別町、岩見沢市、三笠市、美唄市、奈井江町、新十津川町、月形町、浦臼町、赤平市、滝川市、芦別市、歌志内市、上砂川町、深川市、雨竜町にあり、管理区の中では最も多い16市町に分布し、総面積は約6万9千haとなっています。

当管理区の森林は、広大な石狩平野を縦断する石狩川の両岸に位置し、一部の里山を除き、急峻な地帯が多く、96%が保安林に指定されています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約4万7千ha（68%）、人工林が約1万8千ha（26%）、未立木地などが約4千ha（6%）となっています。また、総蓄積は約810万m³で、針葉樹が約351万m³（43%）、広葉樹が459万m³（57%）となっています。

天然林の樹種は、トドマツやエゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で1%、ナラやシナ、ダケカバ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で99%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、比でトドマツが約1万4千ha（78%）、カラマツが約2千ha（10%）、エゾマツ類が約2千ha（10%）、広葉樹・その他が約4百ha（2%）となっています。



見どころ

道民の森



道民の森は、当別町と月形町にまたがる道有林約1万2千haに及ぶ広大な敷地内にある森林総合利用施設で、1990年に開業しました。

「森に集う・森に学ぶ・森に遊ぶ」をテーマに、神居尻・一番川・月形・牧場南・青山ダム・青山中央の6地区でレクリエーション、スポーツ、文化活動、森づくり、自然の中で宿泊体験など、森林とのふれあいを楽しむことができます。

雨竜沼湿原

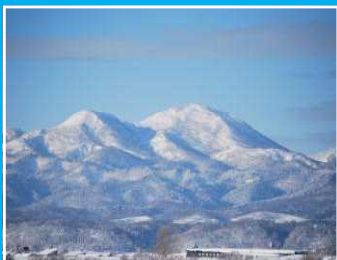


雨竜沼湿原は、雨竜町市街から東方へ約26km進んだところにある登山口から、さらに3kmほど登った標高850mの地点に位置する国内有数の山地高層湿原で、100ha余りの湿原内には大小800以上の池塘（ちとう）と呼ばれる沼が点在しています。

また、湿原内には全長4kmにわたって木道が整備されているほか、木道登山道を500m程登った地点には、湿原を一望しながら休憩することができる展望台が設置されています。

当湿原は学術上の価値も高く、1990年に暑寒別天売焼尻国定公園に指定されるとともに、2005年には624haがラムサール条約登録指定湿地として登録されています。

その他の見どころ



ピンネシリ岳

ピンネシリ岳は新十津川町と当別町にまたがる標高1100mの山。山頂北側にはレーダー雨雪量観測所があり、東に大雪山、西南西には積丹半島を望むことができます。



野幌森林公園

昭和43年、北海道開道百年を記念して隣接する国有林とともに道立自然公園に指定され、自然観察や森林浴など憩いの場所として道民に親しまれています。



赤平ズリ山階段

旧北炭赤間炭鉱のズリ山には、日本一のスケールを誇る777段の階段が設置されており、頂上の展望広場からは赤平市内だけでなく、遠くの山々を一望することができます。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
森づくりふれあいツアー	9月下旬	道民の森	森林散策及び植樹

お問い合わせは 空知総合振興局森林室（電話：0126-22-1155）まで



羊蹄山麓の針広混交保護林（倶知安町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

02 後志管理区

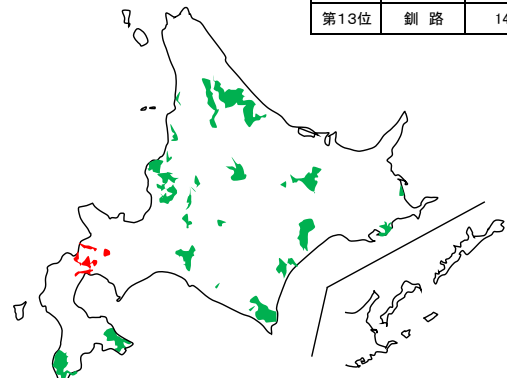
後志管理区は、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、喜茂別町、京極町、倶知安町、長万部町（渡島）、豊浦町（胆振）の10町村にあり、総面積は約4万3千haとなっています。

当管理区の森林は、公益性を重視した山づくりが中心で、羊蹄山やニセコ連峰の森林は国立公園や国定公園に指定され、レクリエーションの場としても広く親しまれています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約3万6千ha（84%）、人工林が約6千ha（15%）、未立木地などが約6百ha（1%）となっています。また、総蓄積は約431万m³で、針葉樹が約139万m³（32%）、広葉樹が約292万m³（68%）となっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で8%、ナラやシナ、ダケカンバ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で92%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約4千5百ha（70%）、カラマツ類が約5百ha（8%）、エゾマツ類が約8百ha（13%）、広葉樹・その他が約5百ha（8%）となっています。



見どころ

半月湖



半月湖は羊蹄山の西麓（海拔270m）にある三日月型の小さな火山湖です。約1万年前の沖積期に羊蹄山の火山活動で生じた爆裂火口に水が溜まってできたものです。

周囲には原生林が密集し、ひっそりとたたずむ姿は神秘的です。春にはキタコブシやエゾヤマザクラなどの樹木が、林床ではヒトシズカ、マイズルソウ、エンレイソウなどの草花が咲き、秋には紅葉を眺め、湖の周囲を鳥のさえずりを聞きながら散策できる一周約40分程の周回路が整備され、親子連れが気軽に訪れ羊蹄山の大自然とふれあうことができます。国道5号線の羊蹄山登山口看板から羊蹄山に向かって約1kmほどで道路左側に駐車場やきれいなトイレがあり、駐車場から徒歩約10分ほどで湖畔です。

ニセコにある湖沼群の中で最も西に位置し、樹齢200年を超えるダケカンバなど原生林に囲まれ、大自然の中にひっそりとたたずんでいる湖です。

波の穏やかな日には、対岸の風景を逆さに写し出し、野鳥のさえずりや木々が風にそよぐ音以外何も聞こえない秘境です。探勝路入り口から湖までは約1時間20分ほどの道のりですが、途中に溪流やダケカンバの古木が見られ、疲れを忘れる爽やかさを体感できます。昔、キツネやタヌキがたくさん棲んでいたことから「狐狸(コックリ)湖」と呼ばれるようになったそうです。

公共の交通機関はありません。町道吉国御成線の御成付近に案内看板があり、ここより砂利道を車で3kmほど進んでいくと探勝路入り口があります。

コックリ湖



その他の見どころ



真狩樹木園

内外の樹種約80種を植栽した見本林と天然林が一体となった森です。入口のカツラ並木は「北海道の美林」に指定され、園内の一部はバリアフリーの歩道を利用した散策が可能です。



羊蹄山

「えぞ富士」とも呼ばれ、日本百名山のひとつに数えられています。高山植物群落は天然記念物に指定されており、倶知安(比羅夫)・真狩・喜茂別・京極の4つの登山コースがあります。



ニセコ山系

比羅夫から雷電峠までを東西に標高1,000m級の山々が連なり、ニセコ積丹小樽海岸国定公園に指定されています。スキー・登山・温泉などアウトドアのメッカとして人気があります。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
夏休み木工クラフト教室	7月下旬	森林室庁舎内	小学生を対象としたネイチャークラフトづくり
くっちゃんじゃが祭り木育教室	8月上旬	倶知安町内	一般住民を対象として木育教室
道有林・森めぐり	秋又は冬	道有林内	道有林の見どころ散策

お問い合わせは 後志総合振興局森林室（電話：0136-22-1152）まで



トドマツの優良な人工林（厚真町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

03 胆振管理区

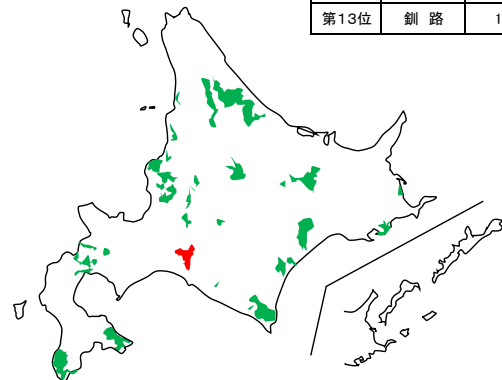
胆振管理区は、胆振管内及び空知管内にまたがって位置し、厚真町、安平町、むかわ町、由仁町、夕張市の5市町にあり、総面積は約3万3千haとなっています。

当管理区の森林は、下流域に多くの農業用ダムや飲料用利水施設があり、沿岸ではホッキ貝、シシャモ等の漁業が営まれているなど、地域の生活や産業にとって重要な役割を担っています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約2万5千7百ha（78%）、人工林が約7千ha（21%）、未立木地などが約3百ha（1%）となっています。また、総蓄積は約569万m³で、針葉樹が約149万m³（26%）、広葉樹が約420万m³（74%）となっています。

天然林の樹種は、トドマツやエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で1%、ナラやシナ、ダケカンバ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で99%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約3千5百ha（47%）、カラマツ類が約2千4百ha（32%）、エゾマツ類が約8百ha（11%）、広葉樹・その他が約7百ha（10%）となっています。



見どころ

ほべつ道民の森



むかわ町穂別市街地近郊にあり、生活環境保全林整備事業で整備された森林利用施設であり、森林・林業に関する体験学習や木育の取組の場として、周辺の町有施設と一体的に広範囲の利用が可能です。

周辺の町有施設としては、スキー場、サクラ並木が続くサクラ園、約1万2千本のツツジが咲き揃うツツジ園、フィールドアスレチック施設などがあり、3キロを超える散策路も用意され、四季を通じて豊かな自然を楽しめます。

森の一角には、野外博物館もあり、緑の中にクビナガリュウやアンモナイトのオブジェが点在する古代の世界が出現します。

コナラ保護林



厚真町市街より北東約16kmに位置し、石狩川低地帯を北限とするコナラが群生しています。

約5haの林を保存し、その林相推移を調査、観察し将来のコナラを主体とした天然林施業の指針とするために設定したものです。

森林状況は、コナラが上中層の大半を占め、カンワ、アサダ、ミズナラなどが中層に点在し、下層にはミズキ、エゾヤマザクラなどが生育しており、林床はミヤコザサで覆われています。

その他の見どころ



ウダイカンバ人工林

むかわ町穂別市街より南西約11kmにあり、ウダイカンバの大径材生産を目標に林齢120年になるまで密度管理試験を継続調査しています。



低密度植栽試験地

由仁町川端市街から南東に約4kmにあり、林業における生産経費の低減化と省力化を目的にグイマツ雑種F1の低密度植栽の効果を検証しています。



シヨロマの滝

厚真町市街より北東15kmにあり、高さ約10m、幅約5mで、沢水の一部が幾重もの白い糸となり、ほぼ直角となった岩肌を伝い落ちています。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
森林サポーターの会活動	5～10月	厚真町・安平町道有林	枝打・下刈・除伐活動
木になる夏休み	7月下旬	胆振森林室庁舎	木工体験など
バットの森づくり植樹祭	9月下旬	由仁町道有林	アオダモの植樹
親子でクリスマスリース作り	11月下旬	胆振森林室庁舎	ツルやドングリ等を使ったクリスマスリース作り

お問い合わせは 胆振総合振興局森林室（電話：0144-72-5121）まで



トドマツ人工林内に天然更新した稚幼樹（えりも町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

04 日高管理区

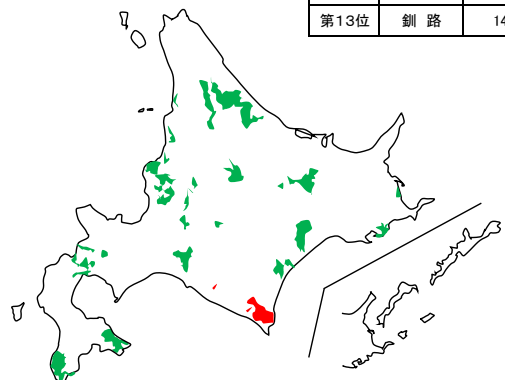
日高管理区は、日高地方の東部に位置し、新冠町、浦河町、様似町、えりも町の4町にあり、総面積は約4万8千haとなっています。

当管理区の森林は、大部分が日高山脈の南部西側斜面に位置し、生活用水の確保や土砂災害等の防止、漁業資源の保全など住民の暮らしを守る上で重要な役割を担っています。また、生物多様性の保全を図るため、希少な野生生物の生息生育地となるアポイ岳周辺、日高山脈沿い等の森林約2万3千ha（当管理区面積の約5割）を生物多様性ゾーン（保護地域タイプ）に設定しています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約4万3千ha（89%）、人工林が約5千ha（10%）、未立木地などが約2百ha（1%）となっています。また、総蓄積は約714万m³で、針葉樹が約261万m³（37%）、広葉樹が約453万m³（63%）となっています。

天然林は、トドマツやキタゴヨウ等の針葉樹が蓄積比で36%、ミズナラやシナ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で64%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約4千2百ha（84%）、エゾマツ類が約3百ha（6%）、カラマツ類が約3百ha（6%）、広葉樹・その他が約2百ha（4%）となっています。



見どころ

アポイ岳



標高が810mであるにもかかわらず、「幌満橄欖岩」と呼ばれているかんらん岩で構成された地質と夏の高霧の冷却効果で、ヒダカソウやアポイアズマギク、エゾコウゾリナなどアポイ岳固有の高山植物があり、1952年に高山植物帯が「アポイ岳高山植物群落」として国の特別天然記念物に指定され、1981年には日高山脈襟裳国定公園の特別保護区となりました。

また、2015年にはユネスコ世界ジオパークに認定され、保全、教育、観光利用に関する活動の発展を目指すこととしています。

豊似湖は日高山脈襟裳国定公園の唯一の自然湖で、周囲は約2kmあり、原生林の中に静かにたたずんでいます。

周囲の山々の四季折々の景色を湖面に写し、また、ナキウサギがしばしば姿を現し、訪れる人を楽しませてくれます。

えりも町目黒から、猿留川の清流を眺めながら林道を10キロほど遡ったところにあり、目黒市街（国道336号）からは車で20分ほどです。駐車場にはトイレが設置されています。

豊似湖



その他の見どころ



様似・猿留山道

江戸幕府が1799年に開削した道内最初の官製道路で、伊能忠敬や松浦武四郎も歩いた古道です。現在、国の史跡指定に向け手続きが進められています。



アポイ樹木園

昭和31年に道有林50周年を記念し、地域住民の憩いの場として整備され、約6haの中に道内外の樹木が約100種、1,500本が植えられています。



幌満のキタゴヨウ自生地

幌満川左岸の道有林に広がる幌満ゴヨウマツ林は、北限の自生地として、昭和18年に国の天然記念物に指定されています。

木育

行事

行事名	時期	場所	内容
夏休み子ども「木づかい」教室	8月上旬	日高森林室庁舎内	子どもを対象とした自由木工
「豊似湖一周」森近感ウォーキング	10月中旬	えりも町字目黒	森林散策など
日高の森と木知らせ隊「ツリー点灯式」	12月上旬	浦河町	幼稚園児を対象としたクリスマスツリー点灯式

お問い合わせは 日高振興局森林室（電話：0146-22-2451）まで



管理区面積ランキング

順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

05 渡島東部管理区

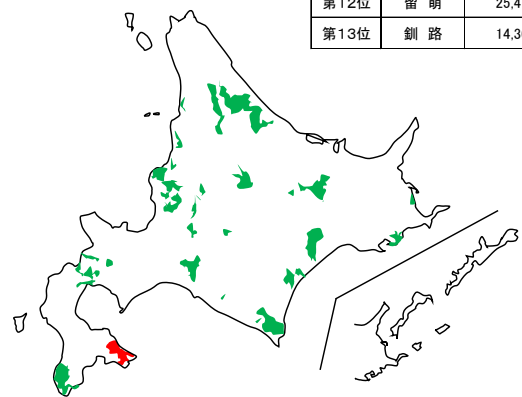
渡島東部管理区は、渡島半島の東側を占める亀田半島に位置し、函館市、七飯町、鹿部町の3市町にあり、総面積は約3万6千haとなっています。

当管理区の森林は、温帯に属し、ブナの天然林にスギの人工林が介在しており、周囲の天然林を防風保護帯として保残した「亀甲型造林」が独特の景観を成しています。また、下流域には、函館市など都市部が広がっていることから、水源林としての機能が期待されています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約2万7千ha（75%）、人工林が約8千ha（22%）、未立木地などが約1千ha（3%）となっています。また、総蓄積は約621万m³で、針葉樹が約207万m³（33%）、広葉樹が約414万m³（67%）となっています。

天然林は、ブナやナラ、ダケカバ、イタヤ等の広葉樹がほとんどを占めています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約6千7百ha（84%）、カラマツ類が約5百ha（6%）、スギが約4百ha（5%）、広葉樹・その他が約4百ha（5%）となっています。



見どころ

横津岳



標高1,167メートルの渡島半島最高峰の山です。春から秋にかけて、チシマフウロやハクサンチドリなどの高山植物が咲き誇り、季節ごとの花たちが登山者の心を和ませてくれます。

山頂には、国土交通省東京航空局のレーダーが建っています。この山頂から眼下に広がる大パノラマは、登山の疲れも忘れさせてくれる眺望です。函館市街や噴火湾から津軽海峡、大沼公園と駒ヶ岳、遠くは羊蹄山、下北半島まで四方八方に壮大な鳥瞰図が広がります。

山頂付近には雲井沼があり、9月になると紅色のスイレンが咲き、晴れた日には青空と山頂のドームが水面に映え、一帯は天上のお花畑になります。

松倉川流域には、大小様々な滝があり、四季折々に違った表情を見せてくれます。上流に位置する白滝は、落差15メートルほどあり、新聞で何度か紹介された美しい滝です。さらに上流には、立岩の滝、羽衣の滝などありますが、すばらしい景観とは裏腹に、かなり険しい溪流となっています。

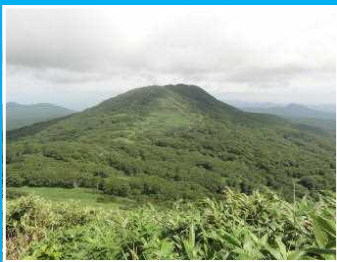
河畔林に多いハルニレ等の大木の枝で、溪流をトンネル状にしているところもあり、神秘的な景観が楽しめます。

また、上流に向かう林道沿いには、樹齢100年を超える見事なスギ林（通称：松倉の杉）や生命力の強さを感じることができるキタゴヨウが、高い岩肌へべりつくように立っています。

松倉川



その他の見どころ



袴腰岳

標高1,108メートルの函館市内の最高峰の山で、市内を流れる亀田川・松倉川の水源地となっています。

山頂からは、特に函館方面の眺めが最高にお勧めです。



ブナ保護林

ブナは温帯林の代表樹種ですが、北海道での分布は道南地域に限られています。

そのブナを原生のまま保存し、自然の推移を見守るため、保護林として設定しています。



アヤメ湿原

標高800メートル付近にある松倉川の源流部に位置する高層湿原です。

7月中旬から8月中旬にはノハナショウブが咲き誇り、訪れる人の目を楽しませてくれます。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
森への誘い講座	5月～12月	函館市近郊	講座生（一般公募）を対象とした森林教室等
はこだて花と緑のフェスティバル	6月中旬	函館グリーンプラザ周辺	一般市民を対象とした木工等
水と緑の祭典	7月中旬	新中野ダム周辺	木工、森林散策、ダム見学等

お問い合わせは 渡島総合振興局東部森林室（電話：0138-83-7282）まで



スギの優良な人工林（松前町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

06 渡島西部管理区

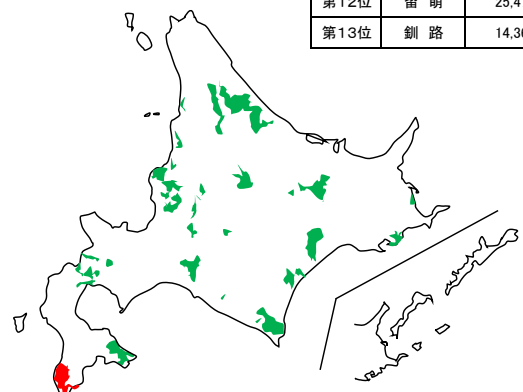
渡島西部管理区は、全道の管理区の中で、最も南に位置しており、福島町、松前町、上ノ国町の3町にあり、総面積は約4万8千haとなっています。

当管理区の森林は、渡島半島南西端に位置し、大千軒岳（1,072m）を主峰とする山脈に源を発した河川は水産資源保護法に基づく「保護水面」に指定され、津軽海峡及び日本海に注いでおり、沿岸ではコンブ、アワビ、ウニなどの漁業が行われています。また、飲料水の水源は、ほとんどが道有林となっており、地域住民の道有林に対する関心と期待が大きい地域です。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約4万2千ha（89%）、人工林が約5千2百ha（11%）、未立木地などが約2百haとなっています。また、総蓄積は約812万m³で、針葉樹が約96万m³（12%）、広葉樹が約716万m³（88%）となっています。

天然林は、ブナやナラ、イタヤ、カンバ類等の広葉樹林がほとんどを占めています。

人工林の樹種別面積（割合）は、スギが約2千8百ha（54%）、トドマツが約2千ha（38%）、カラマツ類が約3百ha（5%）、広葉樹・その他が約2百ha（3%）となっています。



見どころ

ブナの森100年観察林



平成18年に道有林創設100周年を迎えることを記念し、福島町字千軒地区のブナ林の内、31.20haを「ブナの森100年観察林」として設定しました。

観察林内には、幹周り約370cmのブナの巨木があり、また、特定の14本のブナの木を毎年計測して、公表しています。

ブナは道南地方を代表する落葉広葉樹であり、春は輝くような新緑、秋の黄色みから黄褐色に変わる黄葉など、季節に応じた美しい林をなし、林内は多くの動植物のすみかとなっています。

大千軒岳

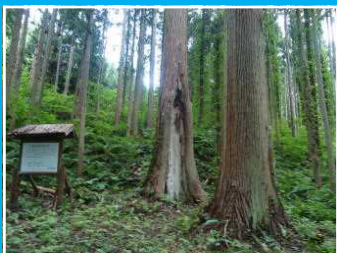


松前町と上ノ国町との境にある大千軒岳（標高1,072m）は渡島半島南西部では最高峰であり、山頂からは駒ヶ岳、函館山をはじめ、日本海に浮かぶ奥尻島や渡島大島、津軽海峡、さらには、青森県の八甲田山、岩木山までもが一望できるなど、素晴らしい景色が眼下に広がります。

さらに、海に囲まれているために風当たりが強く気候が寒冷であるため、本州の2km級の山と同等の高山性を備えており、登山コースの沢筋や尾根筋の林床でも豊富な高山植物が楽しめます。

また、北海道で最初に一等三角点が設置された山でもあります。

その他の見どころ



池の岱（古スギ）

道内に現存する最古のスギと言われており、2本が「北海道名木」に指定されています。安政年間(1854～1860年)に植栽されたものと思われます。



池の岱（アカマツ林）

古スギと共に、安政年間（1854～1860年）に植えられたものと思われます。



池の岱（池の岱公園）

池の岱の開基は今から500年以上前で、松前藩公が鷹狩や魚釣り等を楽しんだ場所です。昭和55年に行われた「スギまつり」の会場にも使われました。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
「殿様街道」探訪ウォーク	5月上旬	福島町字千軒	ブナ林散策
松前町森づくり育樹祭	10月中旬	松前町字上川	育樹活動
「殿様街道」探訪ウォーク及び「ブナの森100年観察林」観察会	10月下旬	福島町字千軒	ブナ林散策及び「ブナの森100年観察林」観察会
森林環境教室	5月～11月	知内町、木古内町	森林観察

お問い合わせは 渡島総合振興局西部森林室（電話：0139-42-2013）まで



旭岳まで続く針広混交林（東川町）

管理区面積ランキング

順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

07 上川南部管理区

上川南部管理区は、石狩川流域の旭川市、当麻町、愛別町、上川町、東川町と、空知川流域の南富良野町の6市町にあり、総面積は約3万7千haとなっています。

上川管内の基幹産業である林業・木材産業の振興に貢献するとともに、水源林として、旭川市などの生活用水や農業用水として利用され、管理区面積の約2割が大雪山国立公園に指定され、道内最高峰の旭岳などが観光資源となっています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約2万3千ha（63%）、人工林が約1万1千ha（29%）、未立木地等が約3千ha（8%）となっており、総蓄積は約589万m³で、針葉樹が約378万m³（64%）、広葉樹が約211万m³（36%）となっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で43%、ミズナラやダケカンバ、シナノキ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で57%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約6万5千ha（62%）、カラマツ類が約7千ha（7%）、エゾマツ類が約3万1千ha（30%）、広葉樹が約1千ha（1%）となっています。

